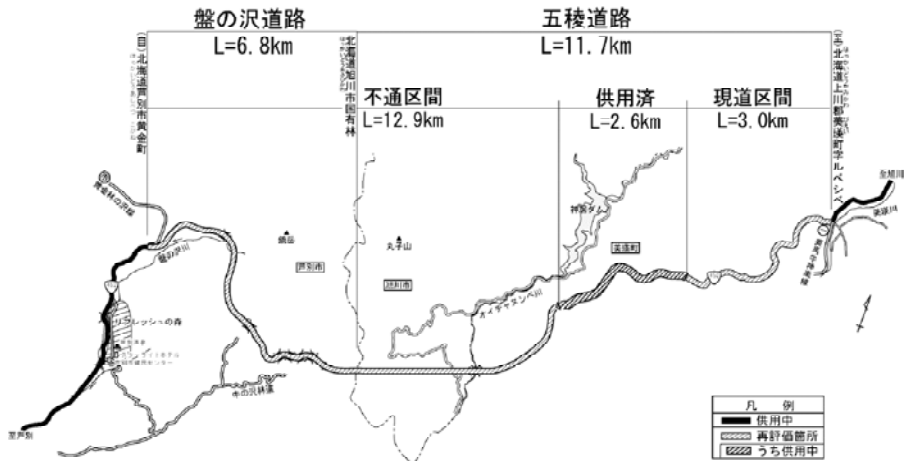


# 再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：下保 修

<b>事業名</b> 一般国道452号 盤の沢道路／五稜道路 <small>ばん さわ ごりょう</small>	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 北海道開発局																		
<b>起終点</b> 自：北海道芦別市黄金町（盤の沢道路起点） 至：北海道上川郡美瑛町字ルベシベ（五稜道路終点） <small>あしべつ こがね かみかわ びえい</small>		<b>延長</b> 18.5 km																		
<b>事業概要</b> 一般国道452号は、夕張市を起点に旭川市に至る延長約109kmの幹線道路である。盤の沢道路・五稜道路は、交通不能区間の解消による国土・地域ネットワークの構築、円滑なモビリティの確保、個性ある地域の形成に寄与することを目的とした延長18.5kmの一次改築事業である。																				
<b>H5年度事業化</b> H一年度都市計画決定		<b>H6年度用地着手</b> H5年度工事着手																		
<b>全体事業費</b> 198億円（盤の沢道路） 319億円（五稜道路）	<b>事業進捗率</b> 6%	<b>供用済延長</b> 2.6 km																		
<b>計画交通量</b> 4,400台/日																				
<b>費用対効果分析結果</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"><b>B/C</b> (事業全体)</td> <td style="width: 20%;">1.7</td> <td style="width: 20%;"><b>総費用</b> (残事業/事業全体)</td> <td style="width: 20%;">388/442億円</td> <td style="width: 20%;"><b>総便益</b> (残事業/事業全体)</td> <td style="width: 20%;">753/753億円</td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>1.9</td> <td>事業費：366/415億円</td> <td>維持管理費：22/27億円</td> <td>走行時間短縮便益：744/744億円</td> <td>走行費用減少便益：6.0/6.0億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>交通事故減少便益：2.7/2.7億円</td> <td></td> </tr> </table>	<b>B/C</b> (事業全体)	1.7	<b>総費用</b> (残事業/事業全体)	388/442億円	<b>総便益</b> (残事業/事業全体)	753/753億円	(残事業)	1.9	事業費：366/415億円	維持管理費：22/27億円	走行時間短縮便益：744/744億円	走行費用減少便益：6.0/6.0億円					交通事故減少便益：2.7/2.7億円		<b>基準年</b> 平成19年
<b>B/C</b> (事業全体)	1.7	<b>総費用</b> (残事業/事業全体)	388/442億円	<b>総便益</b> (残事業/事業全体)	753/753億円															
(残事業)	1.9	事業費：366/415億円	維持管理費：22/27億円	走行時間短縮便益：744/744億円	走行費用減少便益：6.0/6.0億円															
				交通事故減少便益：2.7/2.7億円																
<b>感度分析の結果</b> 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.1（交通量+10%） B/C=1.8（交通量-10%） 事業費変動：B/C=1.8（事業費+10%） B/C=2.1（事業費-10%） 事業期間変動：B/C=1.9（事業期間+20%） B/C=2.0（事業期間-20%）																				
<b>事業の効果等</b> ・国土・地域のネットワークの構築（現道等における交通不能区間を解消する） ・円滑なモビリティの確保（第二種空港へのアクセス向上が見込まれる） ・個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される）																				
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 地域産業の振興を図るとともに沿線地域の連携を促進するため、4市2町の首長で構成される期成会等により早期整備の要望を受けている。		他6項目に該当																		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・平成6年度に国道38号赤平バイパスが一部供用開始。 ・平成18年度に国道38号芦別バイパスが全線供用開始。 ・平成17年度に国道237号がシーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルートとして指定。																				
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 平成5年度より工事着手し、用地進捗率78%、事業進捗率6%となっている。																				
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 引き続き事業が順調に進んだ場合、平成30年代前半の事業完了を予定している。																				
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 橋梁上部工の構造変更（波型鋼版ウェブへ変更）によりコストの縮減を図っている。																				
<b>対応方針</b> 事業継続																				
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。																				
<b>事業概要図</b>																				



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。